

## 第9章 環境放射能水準調査結果

昭和63年度から、文部科学省（平成25年4月からは、原子力規制庁）からの委託を受け、環境放射能の監視を継続して行っている。平成26度の調査結果は表9-1、9-2のとおりであった。

平成23年3月12日に発生した東京電力株式会社福島第1原子力発電所の事故を受け、平成24年4月から、モニタリングポストを4局増設し、県内5局で空間放射線量を常時監視している。

環境試料では、土壌から人工放射性物質であるセシウム137が検出されたが、過去の測定値の範囲内であり、測定を開始した昭和63年から減少傾向である。

表9-1 空間放射線量率の測定結果

測定年月	大分市高江 (衛生環境研究センター)			大分市佐賀関 (大分市立佐賀関小学校)			佐伯市 (大分県立佐伯豊南高校)			日田市 (大分県日田総合庁舎)			国東市 (大分県立国東高等学校)		
	最低値	最高値	平均値	最低値	最高値	平均値	最低値	最高値	平均値	最低値	最高値	平均値	最低値	最高値	平均値
平成27年4月	0.049	0.068	0.051	0.038	0.074	0.040	0.047	0.070	0.051	0.034	0.052	0.037	0.036	0.063	0.038
5月	0.049	0.071	0.051	0.038	0.072	0.040	0.048	0.078	0.051	0.035	0.066	0.038	0.036	0.065	0.038
6月	0.049	0.079	0.053	0.038	0.085	0.042	0.048	0.094	0.053	0.035	0.077	0.039	0.035	0.070	0.040
7月	0.049	0.078	0.051	0.038	0.086	0.040	0.047	0.093	0.050	0.035	0.074	0.037	0.035	0.095	0.038
8月	0.049	0.067	0.051	0.037	0.058	0.040	0.048	0.087	0.053	0.034	0.076	0.038	0.036	0.068	0.038
9月	0.049	0.075	0.051	0.036	0.067	0.039	0.048	0.073	0.051	0.035	0.062	0.037	0.036	0.058	0.038
10月	0.049	0.057	0.051	0.037	0.050	0.038	0.048	0.057	0.052	0.035	0.063	0.038	0.035	0.060	0.038
11月	0.049	0.070	0.051	0.036	0.070	0.038	0.048	0.074	0.051	0.035	0.067	0.038	0.036	0.074	0.039
12月	0.049	0.068	0.051	0.036	0.058	0.038	0.048	0.070	0.051	0.035	0.056	0.038	0.036	0.064	0.038
平成28年1月	0.049	0.067	0.051	0.034	0.060	0.037	0.049	0.077	0.051	0.035	0.055	0.038	0.034	0.069	0.038
2月	0.049	0.060	0.050	0.035	0.052	0.037	0.048	0.065	0.051	0.035	0.046	0.037	0.035	0.063	0.038
3月	0.049	0.071	0.051	0.035	0.071	0.040	0.048	0.079	0.051	0.035	0.059	0.037	0.035	0.065	0.038
年間値	0.049	0.079	0.051	0.034	0.086	0.039	0.047	0.094	0.051	0.034	0.077	0.038	0.034	0.095	0.038

備考1  $\mu\text{Gy/h}$ : 1時間あたりの $\gamma$ 線の吸収エネルギー量

備考2 佐伯鶴岡高校は統合により、佐伯豊南高校に名称変更となった

表9-2 環境試料中の放射性物質濃度

試料名	試料数	採取場所	単位	核種名 ヨウ素-131	核種名 セシウム-134	核種名 セシウム-137
大気浮遊じん	4	大分市	$\text{mBq/m}^3$	N.D	N.D	N.D
大気降下物	12	大分市	$\text{MBq/km}^2$	N.D	N.D	N.D
上水	1	大分市	$\text{mBq/L}$	N.D	N.D	N.D
土壌	(0~5cm)	1	竹田市	$\text{Bq/kg}\cdot\text{乾土}$	N.D	N.D
	(5~20cm)	1	竹田市	$\text{Bq/kg}\cdot\text{乾土}$	N.D	N.D
精米	1	宇佐市	$\text{Bq/kg}\cdot\text{生}$	N.D	N.D	N.D
野菜類	2	宇佐市	$\text{Bq/kg}\cdot\text{生}$		N.D	N.D
牛乳	1	竹田市	$\text{Bq/L}$	N.D	N.D	N.D